

# 港区を歩く⑨ 白金一帯

今回は、白金一帯を中心に歩きました。

白金は、1丁目から6丁目まであり、おおむね奇数の丁目が低地、偶数の丁目が台地上になり、その境を都道305号(通称、恵比寿通り)が東西に走ります。

低地は庶民的なまち、台地上は閑静な高級住宅地域といついでしょ。



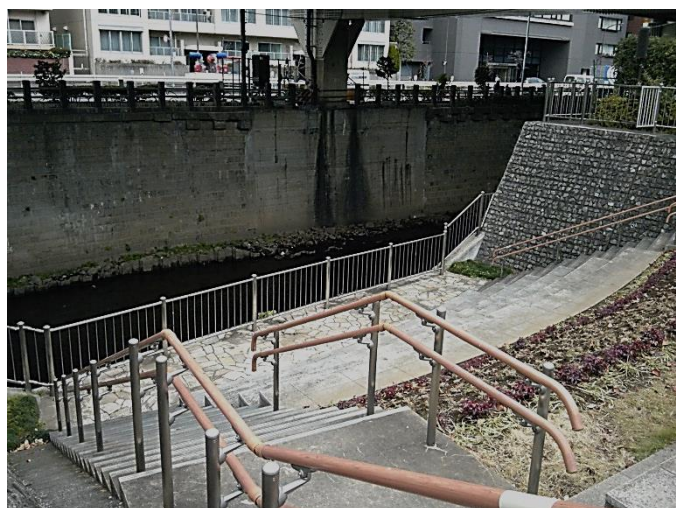
**A** 低層、中層、高層の建物が混在する典型的な景観



**B** 懐かしい市場がありました。



**C** 北里研究所病院近くの典型的な景観



**D** 白金公園の古川にのぞむ親水テラス



# 港区を歩く⑨ 白金一帯

坂を上ると高級住宅地というお決まりの  
パターンは、白金でも見られます。  
特に、三光坂上あたりは、仙台坂上と極  
めて似た印象を受けました。

隣接する白金台も含めた白金の特徴は、  
聖心女子学院、東京大学医科学研究所、  
国立科学博物館付属自然教育園という  
広大な緑が連担している点にあると思わ  
れます。  
遊歩道でつながれば素敵でしょう。



**E** 三光坂上の住宅街。左の豪邸は旧服部金太郎氏邸。

**F** 南側の見た旧服部金太郎氏邸の一部



**G** 明治坂上から北側を望む。

**H** 聖心女子学院初等科(左)前の坂道



# 港区を歩く⑨ 白金一帯

最後に白金台4丁目を歩きました。

ここにも、低地と台地という構造が小規模ながら見られました。台地上に医科研、目黒通り、プラチナ通りがあり、これらに囲まれて低地が広がるという構造です。

白金の象徴、プラチナ通りは、かなり庶民化されてきた印象を持ちました。

撮影日：2014年12月12日



I 東京大学医科学研究所の静かな構内。



J 医科研、目黒通り、プラチナ通りに囲まれた低地に向かう坂道。



K Jの坂を下りると、素敵な木造住宅に出会いました。



L 白金の象徴、プラチナ通り。